

「令和5年度イノベーション創出プラットフォーム事業 (Fukushima Tech Create)
 アクセラレーションプログラム及び先導技術事業化アクセラレーションプログラム公募型プロポーザル」
 質問書に対する回答

令和5年4月7日

質問項目	質問内容	回答	備考
1 仕様書 (P3) 2 (3) ② 先端技術事業化アクセラレーションプログラムの運営等について	プログラム参加者数の目安に「各フェーズ合計7者程度 (フェーズごとの構成比は問わない)」とありますが、いずれかのフェーズが0者となることは問題ないでしょうか。 (例: 起業フェーズ: 4者、事業化フェーズ: 3者、量産化フェーズ: 0者)	仕様書の記載の通り、各フェーズの構成比は問いません。結果的に0者のフェーズがあったとしても問題ございません。	
2 仕様書 (P2) 2 (3) ① アクセラレーションプログラムの運営等について 仕様書 (P3) 2 (3) ② 先端技術事業化アクセラレーションプログラムの運営等について	成果発表会 (ピッチイベント等) を上記2プログラム併催で行うことは、認められますでしょうか。認められます場合、各アクセラプログラムの採択者間の連携や交流にもつながるといふ利点もあると考え質問いたします。	成果発表会については、アクセラレーションプログラム及び先導技術事業化アクセラレーションプログラムで1日、ビジネスアイデア事業化プログラムで1日の計2日間の連日開催を想定しています。	
3 仕様書 (P2) 2 (3) ① アクセラレーションプログラムの運営等について	成果発表会 (ピッチイベント等) は「プログラム部分を企画し、成果発表会運営会社、プログラム参加者や他のプログラム等との調整、集客や事後啓発等の情報発信を行うこと」とありますが、 1、成果発表会の開催日は同日、別日どちらの想定でしょうか。 2、見積積算を行うため、昨年度の本プログラム受託者の具体的な業務等をご教示いただくことは可能でしょうか。 3、見積積算を行うため、本年「成果発表会運営会社」が担う業務と本公募受託者が行う「本プログラム部分」について具体的な想定がありましたらご教示いただけますでしょうか。	1. 成果発表会については、アクセラレーションプログラム及び先導技術事業化アクセラレーションプログラムで1日、ビジネスアイデア事業化プログラムで1日の計2日間の連日開催を想定しています。 2. 具体的な業務等の情報はお示しできません。 3. イノベ機構及び成果発表会運営会社が行う全体進行のうち、本公募受託者様には、「成果発表会に関するプログラム参加者との窓口調整、プログラム参加者の発表資料取りまとめ、ブース展示サポート」、「成果発表会での本プログラム部分の司会進行」等を想定しております。	
4 仕様書 (P4) 2 (3) ③ 起業創業支援動画の作成について	過年度の成果物や反響を踏まえて、今年度特に製作を期待するテーマがあればご教示いただけますでしょうか。	仕様書の記載例を参考として下さい。	
5 仕様書 (P2) 2 (3) ① アクセラレーションプログラムの運営等について	イノベ機構が行うプログラム参加者の募集・応募受付・選定の業務 (受託者が行う募集活動及び選定補助を除く。) を昨年度の実績ベースでご教示ください。具体的には、選定のための評価基準の設計、当該基準に基づくエントリーシート設計、募集サイトの構築などはイノベ機構と受託者のどちらが主体となっていくのかなど、イノベ機構と受託者の役割分担を確認する趣旨です。	選定のための評価基準の設計、当該基準に基づくエントリーシート設計、エントリーシートの受付サイトの開設はイノベ機構が担います。	

	質問項目	質問内容	回答	備考
6	募集要領等下部に添付された(4)支援プログラムイメージ案(参考資料)に記載された文章について	今回の補助率ですが、特定の要件を満たす場合には4/5になると記載があり、その要件が①～⑥と記載があります。こちら特定の要件は、全て満たしていないと補助率は4/5とならないのでしょうか。それともいづれかを満たすことで適用されるものなのでしょうか。	特定要件は「いずれか」を満たしていただければ適用されます。	
7	仕様書(P2) 2(3)① アクセラレーションプログラムの運営等について 仕様書(P3) 2(3)② 先端技術事業化アクセラレーションプログラムの運営等について	今回は合計で最低オンライン4回、福島県内にて最低対面4回、合計8回のイベントの実施が必要となります。一方で双方で採択を検討するベンチャーのフェーズは類似しており、場合によっては同一のプログラムを受けさせることが適切になる場合があるかと思えます。こちら仮に双方を対象としたイベントを共同で実施し、要件としてカウントするようなことは考えられているのでしょうか。それとも、最低全8回全てに対して異なるイベントを展開し、実施することを検討されているのでしょうか。	仕様書に記載のとおり、併催(双方を対象としたイベントを共同で実施し、要件としてカウントする)も可能としております。	
8	仕様書(P3) 2(3)② 先端技術事業化アクセラレーションプログラムの運営等について	3つのフェーズ、起業フェーズ、事業化フェーズ、量産化フェーズの区分に関する質問となります。基本的な区分けに関しましては仕様書上にありますが、具体的に想定されるベンチャー(特に事業化フェーズ、量産化フェーズ)について、過去の採択者等を例に示していただくことは可能でしょうか。もしくは既存のベンチャーの区分としてごいまず、調達資金に伴うシリーズでの表記などで補足説明していただくことは可能でしょうか。	仕様書からご判断ください。	